

来週の「売り物」記事はこれ



2012年8月24日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ただいま話題沸騰！

超大型読み物「S（ストーリー）」！！

被災地仙台… 女子少年院 誓いのオペレッタ 朝刊 26日



盗みや傷害、違法薬物……。さまざまな事件を起こした少女たちが共同生活する女子少年院は、矯正教育を目的にした施設です。東京、大阪など全国に9カ所あり、300人を超える少女たちが収容されています。仙台市にある青葉女子学園もその一つです。3・11では、津波が3*手前まで迫り、ライフラインは1カ月近くストップしました。そうした巨大地震に襲われた年も、途切れることなく30年近くにわたって脈々と受け継がれている学園行事があります。それはオペレッタです。脚本、音楽、衣装、そして演技のすべてを、少女たちが手がけます。更生を誓い、本番に向けて苦闘する彼女たち……。知られざる女子少年院を舞台に繰り広げられる魂のドラマを、敏腕の女性司法記者がルポします。

日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

ロンドンの熱戦ふたたびーパラリンピックが29日に開幕



世界中をわかせたロンドン五輪の余韻がさめやらぬ今月29日（日本時間30日未明）、同じ舞台でもう一つのビッグイベントが幕を開け、9月9日まで熱戦を繰り広げます。障害者スポーツの祭典、ロンドンパラリンピックです。陸上、競泳、柔道、車いすバスケットなど、20競技に160カ国・地域から約4200人の選手が参加。日本からは、車いすテニスの世界的プレーヤー、国枝慎吾や、選手団主将で車いすマラソンの金メダルを狙う土田和歌子をはじめ135人の選手がこの大会に挑みます。毎日新聞では、ペン、カメラの特派員を派遣して連日、大会の様態を迫力ある写真とともにレポートします。28日には、日本選手の名鑑を掲載予定。ハンディを乗り越える選手たちの姿を伝える紙面にどうかご期待ください。

生きられる社会へ 生活保護の事例 くらしナビA面 28日（火）

うつ病で退職を余儀なくされたり、離婚して母子家庭になるなど、生活保護の受給にいたる事情はさまざまです。さいたま市で支援活動するNPO法人の代表理事に、最近の受給者の傾向やケースごとの受給額について聞きました。食費や光熱費などの「生活扶助」、家賃などに充てる「住宅扶助」をはじめ、教育費、障害者加算なども紹介します。

シニアのおしゃれ くらしナビB面 30日(木)

「リタイヤ」でなく「トライアル」の絶好機。1日をどう過ごすか考え、会う予定の相手を思い浮かべながら、服装やメイクを工夫してみてください。ゆったりした袖周りや、転んでも衝撃が少ないなど、高齢者に配慮した衣服も人気を集めています。

月刊だまされない 財産被害を防ぐ くらしナビA面 31日(金)

高齢者の老後資金を狙った犯罪が多発しています。政府も「消費者アクションプラン」をつくり、対策に本腰を入れています。弁護士の村千鶴子さんが、最近の事例の特徴を解説し、悪徳商法を撃退するコツを指南します。甘いもうけ話にはワナが潜んでいますので、ご注意ください。

夕刊特集ワイド面 27日(月)

原発ゼロの世界を検証する

「電気料金が上がり家計を直撃」は本当か？

今後のエネルギー政策を決めるため政府が実施した討論型世論調査では「原発ゼロ派」が増え、パブリックコメント（意見聴取）では9割近くがゼロ派だった。原発ゼロに対しては経済界を中心に、「電気料金が上がる」「海外に企業が逃げだし経済がダメになる」「雇用が減る」「再生可能エネルギーは非現実的」という警告の声が上がっている。果たして本当にそうなのか、原発維持派に都合のよい計算をしていないかを2回にわたり考える。原子力の比率を下げると石油など化石燃料の依存率が強まるので電気料金が上がるとされ、「原子力は安い」と言われる。が、専門家は研究開発費用や地元への補助金など政策コストや事故リスクのコストが含まれていないと指摘する。